

平成 29 年度

小諸市一般会計・特別会計決算及び
基金の運用状況審査意見書

小諸市監査委員

30監第23号
平成30年8月8日

小諸市長 小泉俊博 様

小諸市監査委員 佐藤 龍彦

小諸市監査委員 清水 喜久男

平成29年度小諸市一般会計・特別会計決算
及び基金の運用状況の審査意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された平成29年度小諸市一般会計・特別会計歳入歳出決算、関係書類及び証憑書類並びに基金の運用状況を審査したので、その結果を次のとおり意見を付して提出します。

目 次

第1	審査の対象	2
第2	審査の期間	3
第3	審査の方法	3
第4	審査の結果	3
	決算総括	4
1	決算規模	4
2	決算収支の状況	4
3	財政の構造	5
4	市債の状況	6
5	財政分析	7
6	基金残高	7
	一般会計	8
1	歳入	8
2	歳出	11
	特別会計	12
1	決算の概要	12
2	小諸市等公平委員会特別会計	12
3	国民健康保険事業特別会計	12
4	後期高齢者医療特別会計	13
5	介護保険事業特別会計	13
6	奨学資金特別会計	14
7	住宅新築資金等貸付事業特別会計	14
8	農業集落排水事業特別会計	14
9	小諸公園事業特別会計	14
10	野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計	15
11	高峰財産区特別会計	15
12	御牧ヶ原財産区特別会計	15
13	古牧財産区特別会計	15
14	小諸市滋野財産区特別会計	15
15	乗瀬地区市有地管理事業特別会計	15
	実質収支に関する調書	16
	財産に関する調書	17
	定額基金の運用状況	18
	むすび	19

審査意見書

第1 審査の対象

1 一般会計及び特別会計

- 平成 29 年度 小諸市一般会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市等公平委員会特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市奨学資金特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸公園事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 高峰財産区特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 御牧ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 古牧財産区特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 小諸市滋野財産区特別会計歳入歳出決算
- 平成 29 年度 乗瀬地区市有地管理事業特別会計歳入歳出決算

2 附属書類

- 平成 29 年度 各会計歳入歳出決算事項別明細書
- 平成 29 年度 各会計実質収支に関する調書
- 平成 29 年度 各会計財産に関する調書

3 定額基金の運用状況

- 小諸市土地開発基金
- 義務教育入学資金貸付基金
- 小諸市若妻肉用牛飼育事業基金
- 小諸市大津秀子奨学基金
- 小諸市あさま奨学基金

第2 審査の期間

平成30年7月18日から平成30年8月3日まで

第3 審査の方法

平成30年7月18日、小諸市長から審査に付された平成29年度小諸市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金運用状況について、出納室所管の諸帳簿及び証憑書類等の照合検査をするとともに、各課より決算審査資料の提出を求め関係部課長から説明を聴取して、決算計数の正確性、予算執行状況等の審査を行った。

第4 審査の結果

審査に付された一般会計、各特別会計歳入歳出決算、附属書類及び基金運用状況は、いずれも関係法令に準拠して作成されており適正であった。

決算額その他計数は、各会計とも歳入歳出関係諸帳簿と符合しており、正確であることを認めた。

各会計の審査意見は、それぞれの項及び「むすび」において述べるとおりである。また、事務処理等の軽微な審査所見については、審査の際に口頭で述べた。

(注) 文中及び各表中に表示する千円単位の数値は、原則として単位未満を四捨五入した。

したがって表の合計額と一致しない場合があり、構成比についても合計が100%にならない場合がある。

決算総括

1 決算規模

当年度における一般会計及び特別会計の決算額は、次のとおりである。

歳入決算額	30,273,720,703 円(前年比 7.74%増)
歳出決算額	28,985,389,734 円(前年比 8.75%増)
差引	1,288,330,969 円(前年比10.90%減)

決算状況

(単位:円・%)

区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額	予算決算対比	
					歳入	歳出
一般会計	21,036,448,000	19,891,135,379	19,310,614,520	580,520,859	94.56	91.80
特別会計	10,402,690,000	10,382,585,324	9,674,775,214	707,810,110	99.81	93.00
合計	31,439,138,000	30,273,720,703	28,985,389,734	1,288,330,969	96.29	92.20

この決算額には、次表のとおり各会計相互間の繰入金・繰出金が含まれているので、この重複額を控除した純計決算額は、歳入290億6,322万3,503円、歳出277億7,489万2,534円である。

(単位:円)

区分		繰入	繰出
一般会計		6,000,000	1,204,497,200
特別会計	小諸市等公平委員会	116,000	
	小諸市国民健康保険事業	361,017,731	
	小諸市後期高齢者医療	130,370,269	
	小諸市介護保険事業	550,243,200	
	小諸市住宅新築資金等貸付事業	0	6,000,000
	小諸市農業集落排水事業	160,350,000	
	小諸公園事業	0	
小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業	2,400,000		
合計		1,210,497,200	1,210,497,200

2 決算収支の状況

一般会計決算における歳入歳出差引額(形式収支)は、5億8,052万円余で、翌年度へ繰越すべき財源1億2,425万円余を差引いた実質収支額は、4億5,627万円余である。これから前年度実質収支額を控除した単年度収支額は、マイナス5,963万円余である。

決算収支の前年度との比較は次のとおりである。

(単位:千円・%)

区分	平成29年度	平成28年度	比較増減	前年度対比
歳入決算額 A	19,891,136	17,972,117	1,919,019	110.68
歳出決算額 B	19,310,615	16,986,374	2,324,241	113.68
差引額(形式収支) A-B=C	580,521	985,743	△ 405,222	58.89
翌年度へ繰越すべき財源D	124,251	469,837	△ 345,586	26.45
実質収支額 C-D=E	456,270	515,906	△ 59,636	88.44
単年度収支額 当年E-前年E	△ 59,636	13,163	△ 72,799	—

3 財政の構造

一般会計の財政構造は、次のとおりである。

(1) 歳入の構成

自主財源と依存財源の構成比の前年度比較は、次表のとおりである。

(単位:千円・%)

区 分	平成29年度		平成28年度		比較増減	前年度対比
	決算額	構成比	決算額	構成比		
自主財源	8,189,721	41.17	7,714,108	42.92	475,613	106.17
依存財源	11,701,415	58.83	10,258,009	57.08	1,443,406	114.07
合 計	19,891,136	100.00	17,972,117	100.00	1,919,019	110.68

(注) 自主財源とは市税、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入であり、依存財源とは地方交付税、国・県支出金、地方債など自主財源以外のものをいう。

自主財源の決算額は81億8,972万円余で、前年度に比べ4億7,561万円余(6.17%)増加した。一方、依存財源は117億141万円余で、前年度に比べ14億4,340万円余(14.07%)増加した。

自主財源の決算額は増加したが、歳入総額に占める構成比は、前年度より1.75%減少し41.17%となった。

(2) 歳出の構成

一般会計において、歳出決算額を性質別に分類し、前年度と比較して示すと次のとおりで、前年度に比べ、義務的経費は318万円余増加し、投資的経費は20億6,860万円余増加した。

その他の行政経費は、物件費が1億1,641万円余、維持補修費が3,326万円余、繰出金が4,949万円余増加した。減少は扶助費の1億1,670万円余である。

(単位:千円・%)

区 分	平成29年度	平成28年度	比較増減	前年度対比
	決算額	決算額		
義務的経費	7,222,242	7,219,057	3,185	100.04
人件費	2,374,234	2,346,531	27,703	101.18
扶助費	3,198,059	3,314,763	△ 116,704	96.48
公債費	1,649,949	1,557,763	92,186	105.92
投資的経費	4,929,281	2,860,680	2,068,601	172.31
普通建設事業	4,826,856	2,813,431	2,013,425	171.56
災害復旧事業	102,425	47,249	55,176	216.78
その他の行政経費	7,159,092	6,906,637	252,455	103.66
物件費	2,385,575	2,269,163	116,412	105.13
維持補修費	343,360	310,091	33,269	110.73
補助費	2,178,518	2,145,289	33,229	101.55
繰出金	1,645,784	1,596,286	49,498	103.10
積立金	9,376	4,105	5,271	228.40
投資・出資・貸付金	596,479	581,703	14,776	102.54
合 計	19,310,615	16,986,374	2,324,241	113.68

4 市債の状況

市債の状況は、次表のとおりである。一般会計及び特別会計を合わせた当年度末残高は203億4,870万円余で、前年度末に比べ13億9,137万円余増加し、例年になく増加している。

(単位:千円)

区 分	平成28年度末 現在高	平成29年度		平成29年度末現在高
		借入額	償還額	
一般会計	17,480,779	3,035,244	1,538,885	18,977,138
特別会計	1,476,548	0	104,984	1,371,564
住宅新築資金等 貸付事業	9,189	0	2,798	6,391
農業集落排水事 業	1,467,359	0	102,186	1,365,173
合 計	18,957,327	3,035,244	1,643,869	20,348,702

市債の年度末残高の推移は、次表のとおりである。

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
一般会計	18,977,138	17,480,779	17,333,769	15,247,223	13,959,297
特別会計	1,371,564	1,476,548	1,580,207	1,682,960	1,823,836
住宅新築資金等 貸付事業	6,391	9,189	12,947	18,024	24,268
農業集落排水事 業	1,365,173	1,467,359	1,567,260	1,664,936	1,799,568
合 計	20,348,702	18,957,327	18,913,976	16,930,183	15,783,133

5 財政分析

普通会計における主要財務比率の推移は、次表のとおりである。

財政力指数等の推移

区 分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
財政力指数	0.579	0.559	0.537	0.531	0.524
経常収支比率(%)	89.3	84.9	82.6	86.8	87.0
経常一般財源等比率(%)	93.4	94.5	98.9	94.1	92.2
公債費比率(%)	8.8	9.3	10.0	10.1	9.6
基準財政収入額(千円)	4,831,253	4,851,213	4,469,360	4,314,158	4,267,496
基準財政需要額(千円)	8,084,784	8,194,636	8,168,777	8,019,487	8,104,398
標準財政規模(千円)	9,860,896	9,998,438	10,025,135	9,999,851	10,157,005

(1) 財政力指数は、財政力を判断するもので、この指数が1に近いほど財政力があることを示す。

当年度は0.579で前年度に比較して0.020上昇した。

財政力指数＝基準財政収入額÷基準財政需要額の当該年度を含む過去3カ年の平均値

(2) 経常収支比率は、人件費、物件費、維持補修費、扶助費などの経常的経費のために、市税、地方譲与税、地方交付税など毎年継続して収入する経常一般財源を充てた比率で、財政構造の弾力性を判断するもので、70%～80%が標準的とされる。

当年度は89.3%で前年度に比較して4.4%上昇した。

経常収支比率＝経常経費充当一般財源÷経常一般財源収入額×100

(3) 経常一般財源等比率は歳入構造の内容を判断するもので、この比率が高いほど一般財源に余裕があることを示す。

当年度は93.4%で前年度に比較して1.1%減少した。

経常一般財源等比率＝経常一般財源収入額÷標準財政規模×100

(4) 公債費比率は、財政構造の弾力性を判断する指標であり、公債費に充てた一般財源の額の標準財政規模に占める割合を表す比率である。

当年度は8.8%で前年度と比較して0.5%減少した。

公債費比率＝(当該年度元利償還金-(元利償還金充当特定財源+災害復旧費等に係る基準財政需要額A))
÷(標準財政規模-A)×100

6 基金残高

一般会計における基金の残高は、次表のとおりである。

基金残高

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	比較増減
土地開発基金	598,332,371	598,332,371	0
財政調整基金	2,873,256,862	2,612,743,966	260,512,896
職員退職手当基金	244,844,057	244,636,117	207,940
減債基金	1,417,990,094	1,425,001,930	△ 7,011,836
学校建設準備基金	221,821,191	221,677,191	144,000
地域振興基金	2,174,914,680	2,428,730,508	△ 253,815,828
地域福祉基金	498,223,407	498,024,055	199,352
その他の基金	50,522,272	52,251,600	△ 1,729,328
合 計	8,079,904,934	8,081,397,738	△ 1,492,804

・平成29年度の残高はH30.3.31現在の額を表示した。出納整理期間中に財政調整基金4億5,000万円、地域振興基金1億円を取り崩した。

・平成28年度の残高は平成28年度決算書の財産に関する調書の額を表示した。

一般会計

一般会計の執行状況は、以下のとおりである。

1 歳入

歳入決算状況

(単位：千円・%)

区分	予算現額	調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	収入率 (対調定) B/A*100
1 市税	4,924,309	5,337,779	5,132,347	14,521	190,911	96.15
2 地方譲与税	219,379	219,379	219,379	0	0	100.00
3 利子割交付金	7,952	7,952	7,952	0	0	100.00
4 配当割交付金	18,980	18,980	18,980	0	0	100.00
5 株式等譲渡所得割交付金	20,589	20,589	20,589	0	0	100.00
6 地方消費税交付金	797,738	797,738	797,738	0	0	100.00
7 ゴルフ場利用税交付金	8,907	8,907	8,907	0	0	100.00
8 自動車取得税交付金	55,998	55,998	55,998	0	0	100.00
9 地方特例交付金	20,745	20,745	20,745	0	0	100.00
10 地方交付税	普通交付税	3,172,207	3,172,207	0	0	100.00
	特別交付税	712,857	712,857	0	0	100.00
11 交通安全対策特別交付金	4,953	4,953	4,953	0	0	100.00
12 分担金及び負担金	176,213	184,443	183,177	0	1,266	99.31
13 使用料及び手数料	258,959	311,318	282,755	0	28,563	90.83
14 国庫支出金	2,921,676	2,659,025	2,659,025	0	0	100.00
15 県支出金	993,498	966,840	966,840	0	0	100.00
16 財産収入	130,834	133,836	133,836	0	0	100.00
17 寄附金	114,570	115,472	115,472	0	0	100.00
18 繰入金	1,002,778	826,869	826,869	0	0	100.00
19 繰越金	725,743	725,744	725,744	0	0	100.00
20 諸収入	768,719	809,924	789,522	0	20,402	97.48
21 市債	3,978,844	3,035,244	3,035,244	0	0	100.00
歳入合計	21,036,448	20,146,799	19,891,136	14,521	241,142	98.73
前年度	20,223,614	18,219,000	17,972,117	16,889	229,994	98.64
増減額	812,834	1,927,799	1,919,019	△ 2,368	11,148	

歳入決算額(収入済額)は198億9,113万円余で、調定額201億4,679万円余に対し、収入率は98.73%である。
収入済額は、前年度に比べ、19億1,901万円余(10.68%)増加している。
収入未済額は2億4,114万円余で、調定額に対し1.20%である。

主な款別の歳入決算状況は、以下のとおりである。

第1款 市税 (決算総額に対する比率25.80%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	収入率 (対調定) C/B*100
平成29年度	4,924,309,000	5,337,779,089	5,132,346,740	14,521,158	190,911,191	96.15
平成28年度	4,965,672,000	5,458,540,095	5,263,135,688	16,229,551	179,174,856	96.42
比較	△ 41,363,000	△ 120,761,006	△ 130,788,948	△ 1,708,393	11,736,335	

税目別収入状況

(単位:円・%)

区分	決算額		前年度比較	収入率(対調定)	
	平成29年度	平成28年度		平成29年度	平成28年度
市 民 税	2,284,261,392	2,420,843,612	△ 136,582,220	96.84	97.08
個人	1,812,183,572	1,779,991,212	32,192,360	96.21	96.22
法人	472,077,820	640,852,400	△ 168,774,580	99.34	99.55
固定資産税	2,110,677,665	2,093,247,896	17,429,769	95.13	95.34
固定資産税	2,092,414,865	2,075,314,196	17,100,669	95.09	95.31
国有資産等所在 市町村交付金	18,262,800	17,933,700	329,100	100.00	100.00
軽自動車税	146,906,118	141,294,500	5,611,618	94.35	95.26
市たばこ税	278,620,297	294,139,749	△ 15,519,452	100.00	100.00
入湯税	46,324,800	47,819,700	△ 1,494,900	100.00	100.00
都市計画税	265,556,468	265,790,231	△ 233,763	94.95	95.20
計	5,132,346,740	5,263,135,688	△ 130,788,948	96.15	96.42

市税徴収率の推移

(単位:%)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
現年課税分	98.85	98.90	98.93	98.69	98.52
滞納繰越分	18.17	23.65	29.84	25.60	22.42
合計	96.15	96.42	96.29	95.67	95.19

市財政の根幹をなす市税の決算額は51億3,234万円余で、前年度より1億3,078万円余減少した。

徴収率は、96.15%で前年度に比べ、0.27%減少した。

市税の収入未済額は、1億9,091万円余で、前年度より1,173万円余増加している。収納対策を向上されたい。

不納欠損額は、1,452万円余で、前年度に比較して170万円余減少した。欠損処分は適正と認められる。

第10款 地方交付税 (決算総額に対する比率19.53%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	収入率(対調定) C/B*100
平成29年度	3,885,064,000	3,885,064,000	3,885,064,000	0	100.00
平成28年度	4,079,267,000	4,079,267,000	4,079,267,000	0	100.00
比較	△ 194,203,000	△ 194,203,000	△ 194,203,000	0	

地方交付税の決算額は、38億8,506万円余で、前年度に比較して1億9,420万円余減少した。

第12款 分担金及び負担金 (決算総額に対する比率0.92%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	収入率 (対調定) C/B*100
平成29年度	176,213,000	184,442,350	183,177,110	0	1,265,240	99.31
平成28年度	195,883,000	195,566,276	194,768,076	0	798,200	99.59
比較	△ 19,670,000	△ 11,123,926	△ 11,590,966	0	467,040	

分担金及び負担金の主なものは、保育所入所者負担金、老人ホーム入所者等負担金等である。当年度は、前年度に比べ1,159万円余減少した。

第13款 使用料及び手数料 (決算総額に対する比率1.42%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	収入率 (対調定) C/B*100
平成29年度	258,959,000	311,289,284	282,755,202	0	28,534,082	90.83
平成28年度	264,814,000	307,448,372	276,086,990	261,500	31,099,882	89.80
比較	△ 5,855,000	3,840,912	6,668,212	△ 261,500	△ 2,565,800	

使用料及び手数料の主なものは、市営住宅家賃・駐車場使用料、市営駐車場使用料、文化会館使用料、教育施設に係る使用料、戸籍・住民票等交付手数料、ごみ処理手数料等で、当年度は、前年度に比べ666万円余増加した。

収入未済額の主なものは、市営住宅家賃2,847万円余である。

第14款 国庫支出金 (決算総額に対する比率13.37%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	調定額に対する収入率
平成29年度	2,921,676,000	2,659,025,334	2,659,025,334	0	100.00
平成28年度	3,129,105,000	2,158,314,374	2,158,314,374	0	100.00
比較	△ 207,429,000	500,710,960	500,710,960	0	

前年度より5億71万円余増加している。社会資本整備総合交付金及び学校施設環境改善交付金の増が主なものである。

第15款 県支出金 (決算総額に対する比率4.86%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	調定額に対する収入率
平成29年度	993,498,000	966,840,037	966,840,037	0	100.00
平成28年度	1,370,417,000	1,355,240,489	1,355,240,489	0	100.00
比較	△ 376,919,000	△ 388,400,452	△ 388,400,452	0	

前年度より3億8,840万円余減少している。平成28年度に交付された長野県地域医療介護総合確保基金事業補助金がなくなったことによるのが主なものである。

第16款 財産収入 (決算総額に対する比率0.67%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	調定額に対する収入率
平成29年度	130,834,000	133,835,345	133,835,345	0	100.00
平成28年度	38,463,000	42,661,689	42,661,689	0	100.00
比較	92,371,000	91,173,656	91,173,656	0	

財産収入の主なものは、土地建物貸付収入2,718万円余、基金利子収入等625万円余、南城公園野球場命名権料600万円である。土地売払収入は9,330万円余で前年度に比べ8,334万円余増加した。

第17款 寄附金 (決算総額に対する比率0.58%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	調定額に対する収入率
平成29年度	114,570,000	115,471,547	115,471,547	0	100.00
平成28年度	59,650,000	59,601,000	59,601,000	0	100.00
比較	54,920,000	55,870,547	55,870,547	0	

寄附金の主なものは、信州小諸ふるさと応援寄附金9,090万円余(前年度比3,877万円余増)、道路維持費寄附金530万円、学校管理費寄附金1,100万円等で前年度に比べ5,587万円余増加した。

第18款 繰入金 (決算総額に対する比率4.16%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	調定額に対する収入率
平成29年度	1,002,778,000	826,869,203	826,869,203	0	100.00
平成28年度	734,557,000	473,874,278	473,874,278	0	100.00
比較	268,221,000	352,994,925	352,994,925	0	

繰入金の主なものは、減債基金繰入金913万円余、地域振興基金繰入金3億6,000万円、財政調整基金繰入金4億5,000万円であり、前年度に比べ3億5,299万円余増加した。

第20款 諸収入 (決算総額に対する比率3.97%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	収入率 (対調定) C/B*100
平成29年度	768,719,000	809,924,190	789,522,086	0	20,402,104	97.48
平成28年度	747,394,000	775,795,582	756,475,447	398,292	18,921,843	97.51
比較	21,325,000	34,128,608	33,046,639	△ 398,292	1,480,261	

諸収入の主なものは、中小企業融資資金預託金元金収入5億円、労働者生活資金融資預託金元金収入8,000万円等で、前年度に比べ3,304万円余増加した。収入未済額が148万円余増加しており、収納について鋭意努力されたい。

第21款 市債 (決算総額に対する比率15.26%)

(単位:円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	調定額に対する収入率
平成29年度	3,978,844,000	3,035,244,000	3,035,244,000	0	100.00
平成28年度	2,901,128,000	1,575,428,000	1,575,428,000	0	100.00
比較	1,077,716,000	1,459,816,000	1,459,816,000	0	

市債の主なものは、地域医療体制整備事業債5億円、都市再生整備計画補助事業債5億1,230万円、都市再生整備計画立地適正化事業債7億4,190万円、臨時財政対策債5億6,204万円余、野岸小学校改築事業債3億8,540万円等で、当年度は前年度に比べ14億5,981万円余の大幅増加となった。

2 歳出

歳出予算額は、当初予算額168億円に補正予算額12億円を増額し繰越事業費繰越額30億3,644万円余を加え210億3,644万円余となり、前年度に比較して8億1,283万円余増加した。

(単位:千円・%)

区分	平成29年度	平成28年度	増減額	対予算額の割合	
				平成29年度	平成28年度
予算現額	21,036,448	20,223,614	812,834	—	—
支出済額	19,310,615	16,986,374	2,324,241	91.80	80.75
翌年度明許繰越額	1,310,672	3,036,448	△ 1,725,776	6.23	14.43
事故繰越額	0	0	0	0.00	0.00
不用額	415,161	200,792	214,369	1.97	0.95

款別支出状況は次表のとおりである。

(単位:千円・%)

区分	平成29年度		平成28年度		前年度比較	
	支出済額	構成比率	支出済額	構成比率	増減額	前年度対比
1議会費	186,776	1.0	186,772	1.1	4	100.00
2総務費	1,605,218	8.3	2,049,286	12.1	△ 444,068	78.33
3民生費	5,379,406	27.9	5,822,230	34.3	△ 442,824	92.39
4衛生費	3,986,830	20.7	1,485,954	8.7	2,500,876	268.30
5労働費	82,284	0.4	82,069	0.5	215	100.26
6農林水産業費	399,458	2.1	568,372	3.3	△ 168,914	70.28
7商工費	935,109	4.8	882,917	5.2	52,192	105.91
8土木費	2,124,368	11.0	2,241,325	13.2	△ 116,957	94.78
9消防費	446,468	2.3	417,667	2.5	28,801	106.90
10教育費	2,356,634	12.2	1,603,894	9.4	752,740	146.93
11災害復旧費	101,442	0.5	45,872	0.3	55,570	221.14
12公債費	1,649,949	8.5	1,557,763	9.2	92,186	105.92
13諸支出金	56,673	0.3	42,253	0.2	14,420	134.13
合計	19,310,615	100.0	16,986,374	100.0	2,324,241	113.68

特 別 会 計

1 決算の概要

特別会計は、小諸市等公平委員会特別会計ほか13会計である。

これら特別会計決算額の合計は、歳入103億8,258万円余、歳出96億7,477万円余で、予算に対する収入率は99.81%、歳出執行率は93.00%である。

決算額を前年度と比較すると、歳入で2億5,595万円余、歳出で821万円余それぞれ増加した。

特別会計決算状況は、次のとおりである。

平成29年度特別会計決算状況

(単位：千円・%)

会計	予算現額	歳 入		歳 出		差引額
		決算額	予算現額対比	決算額	予算現額対比	
小諸市等公平委員会	230	230	100.00	180	78.26	50
国民健康保険事業	5,495,297	5,486,984	99.85	5,256,397	95.65	230,587
後期高齢者医療	462,940	461,463	99.68	459,462	99.25	2,001
介護保険事業	3,843,936	3,846,528	100.07	3,580,051	93.14	266,477
奨学資金	5,963	5,293	88.76	5,293	88.76	0
住宅新築資金等貸付事業	60,399	75,036	124.23	11,153	18.47	63,883
農業集落排水事業	347,524	341,482	98.26	229,544	66.05	111,938
小諸公園事業	137,052	144,332	105.31	118,134	86.20	26,198
野生鳥獣商品化施設運営事業	13,933	12,232	87.79	12,193	87.51	39
高峰財産区	2,693	2,748	102.04	128	4.75	2,620
御牧ヶ原財産区	2,945	3,470	117.83	1,914	64.99	1,556
古牧財産区	2,090	2,088	99.90	260	12.44	1,828
小諸市滋野財産区	562	571	101.60	41	7.30	530
乗瀬地区市有地管理事業	126	127	100.79	26	20.63	101
合 計	10,375,690	10,382,584	100.07	9,674,776	93.24	707,808
前年度	10,109,208	10,126,631	100.17	9,666,559	95.62	460,072
増減額	266,482	255,953	—	8,217	—	247,736

2 小諸市等公平委員会特別会計

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	230,000	230,163	180,326	49,837	49,837
平成28年度	231,000	231,610	134,447	97,163	97,163
前年度比較	△ 1,000	△ 1,447	45,879	△ 47,326	△ 47,326

3 小諸市国民健康保険事業特別会計

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	5,495,297,000	5,486,983,836	5,256,396,995	230,586,841	230,586,841
平成28年度	5,458,287,000	5,454,727,995	5,319,133,706	135,594,289	135,594,289
前年度比較	37,010,000	32,255,841	△ 62,736,711	94,992,552	94,992,552

収入済額は54億8,698万円余、支出済額は52億5,639万円余で、収入は増加し、支出は減少した。

差引額2億3,058万円余のうち1億3,000万円を基金へ繰入れ1億58万円余を翌年度に繰越した。

保険税収入は9億5,835万円余で、前年度に比べ2,245万円余減少し、収納率は84.85%で前年度に比べ0.03%向上した。

保険税の不納欠損額は1,078万円余である。欠損処分は、適正と認められる。

保険税の収入未済額は1億6,029万円余で、前年度より217万円余減少した。

歳出決算額は52億5,639万円余で、前年度に比べ6,273万円余1.18%減少した。

国民健康保険の加入状況は、加入世帯（年間平均）6,811世帯、被保険者数（年間平均）11,204人である。

(単位：人・戸・円・%)

区 分		平成29年度	平成28年度	比較増減	前年度 対比
加入状況	平均被保険者数	11,204	11,787	△ 583	95.05
	平均加入世帯	6,811	7,033	△ 222	96.84
収入状況	国民健康保険税	958,354,782	980,814,511	△ 22,459,729	97.71
	国庫支出金	1,178,584,272	1,219,123,729	△ 40,539,457	96.67
	療養給付費等交付金	95,926,000	161,957,717	△ 66,031,717	59.23
	前期高齢者交付金	1,446,999,082	1,225,484,761	221,514,321	118.08
	県支出金	246,775,591	245,734,788	1,040,803	100.42
	共同事業交付金	1,119,839,689	1,190,162,146	△ 70,322,457	94.09
	繰入金	361,017,731	351,961,344	9,056,387	102.57
	繰越金等その他収入	79,486,689	79,488,999	△ 2,310	100.00
計	5,486,983,836	5,454,727,995	32,255,841	100.59	
支出状況	総務費	45,842,670	20,223,679	25,618,991	226.68
	保険給付費	3,125,150,563	3,126,864,158	△ 1,713,595	99.95
	後期高齢者支援金等	627,336,281	652,436,129	△ 25,099,848	96.15
	前期高齢者納付金等	2,289,546	478,628	1,810,918	478.36
	老人保健拠出金	12,657	19,890	△ 7,233	63.63
	介護納付金	247,861,312	263,607,868	△ 15,746,556	94.03
	共同事業拠出金	1,139,344,421	1,169,643,852	△ 30,299,431	97.41
	保健事業費	45,363,771	51,669,783	△ 6,306,012	87.80
	その他支出	23,195,774	34,189,719	△ 10,993,945	67.84
計	5,256,396,995	5,319,133,706	△ 62,736,711	98.82	

4 小諸市後期高齢者医療特別会計

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	462,940,000	461,463,061	459,461,867	2,001,194	2,001,194
平成28年度	427,221,000	425,065,083	423,377,591	1,687,492	1,687,492
前年度比較	35,719,000	36,397,978	36,084,276	313,702	313,702

当会計は、75歳以上の高齢者の医療制度に係るものである。

収入済額は4億6,146万円余で、主なものは保険料3億2,856円余、一般会計繰入金1億3,037万円余であり、支出済額は4億5,946万円余で、主なものは広域連合納付金4億4,256万円余である。

5 小諸市介護保険事業特別会計

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	3,843,936,000	3,846,527,936	3,580,050,871	266,477,065	266,477,065
平成28年度	3,719,517,000	3,721,433,087	3,491,308,262	230,124,825	230,124,825
前年度比較	124,419,000	125,094,849	88,742,609	36,352,240	36,352,240

収入済額は38億4,652万円余、支出済額は35億8,005万円余で前年度に比べそれぞれ増加した。

差引額2億6,647万円余は翌年度に繰越した。

歳入の主なものは、第1号被保険者保険料7億9,311万円余、国庫支出金8億2,626万円余、支払基金交付金9億3,318万円余、県支出金5億1,240万円余、一般会計繰入金5億5,024万円余等である。

第1号被保険者保険料普通徴収保険料の不納欠損額は、383万円余である。不納欠損処分は適正と認められる。また、収入未済額は、2,277万円余である。

歳出の主なものは、介護サービスに係る保険給付費32億6,279万円余であり、前年度より1,747万円余増加している。

高齢者及び認定の状況 (3月末現在)

(単位：人・%・件)

区 分	総人口	1号被保険者数	高齢化率	認定申請者数	認定者数
		(65歳以上人口)			
平成25年度	43,471	12,168	27.99	2,100	1,911
平成26年度	43,299	12,519	28.91	2,116	1,909
平成27年度	43,112	12,808	29.71	2,050	1,915
平成28年度	42,725	13,072	30.60	1,923	1,761
平成29年度	42,532	13,259	31.17	1,866	1,798

介護保険サービス等の利用状況及び保険給付額の状況は次表のとおりである。(単位：円・%)

区分		平成29年度	前年比	平成28年度	前年比	平成27年度
介護サービス等諸費	件数	39,384	97.07	40,574	96.41	42,087
	給付額	2,959,495,210	101.52	2,915,236,275	97.63	2,985,937,879
介護予防サービス等諸費	件数	5,255	70.69	7,434	81.76	9,093
	給付額	91,042,060	74.13	122,810,971	84.97	144,537,758
審査支払手数料	件数	50,849	100.86	50,414	100.94	49,943
	給付額	2,789,742	95.41	2,924,012	97.58	2,996,580
高額介護サービス費	件数	6,645	102.01	6,514	109.35	5,957
	給付額	67,834,513	102.07	66,459,115	103.67	64,107,962
高額医療合算介護サービス等費	件数	373	132.27	282	91.86	307
	給付額	9,747,021	134.76	7,233,052	96.59	7,488,665
特定入所者介護サービス等費	件数	4,071	100.42	4,054	92.26	4,394
	給付額	131,886,880	100.94	130,652,330	92.77	140,833,060
合計	件数	106,577	97.53	109,272	97.76	111,781
	給付額	3,262,795,426	100.54	3,245,315,755	96.99	3,345,901,904

6 小諸市奨学資金特別会計

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	5,963,000	5,293,238	5,293,238	0	0
平成28年度	55,963,000	54,689,646	54,689,646	0	0
前年度比較	△ 50,000,000	△ 49,396,408	△ 49,396,408	0	0

収入済額及び支出済額は、同額で529万円余である。平成28年度においては、5,000万円の寄付があり同額を積立てた。

貸付件数は16名分528万円、奨学資金貸付金収入は10名分153万円であった。

7 小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	60,399,000	75,036,418	11,152,996	63,883,422	63,883,422
平成28年度	57,000,000	72,056,946	10,425,868	61,631,078	61,631,078
前年度比較	3,399,000	2,979,472	727,128	2,252,344	2,252,344

収入済額は7,503万円余、支出済額は1,115万円余で、差引6,388万円余を翌年度に繰越した。

歳入の主なものは、県支出金90万円余、諸収入では貸付金元利収入1,249万円余である。

貸付金元利収入の収納率は2.00%、前年度比0.07%増となり、収入未済額は6億1,108万円余で前年度より937万円余減少した。

歳出の主なものは、一般会計繰出金600万円、公債費309万円余である。

未収金である貸付金元利償還金の回収・整理に鋭意努力されたい。

8 小諸市農業集落排水事業特別会計

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	347,524,000	341,482,281	229,544,320	111,937,961	111,937,961
平成28年度	237,057,000	237,719,545	232,697,404	5,022,141	5,022,141
前年度比較	110,467,000	103,762,736	△ 3,153,084	106,915,820	106,915,820

収入済額は3億4,148万円余、支出済額は2億2,954万円余で、差引1億1,193万円余であった。

歳入の主なものは、下水道使用料5,454万円余、一般会計繰入金1億6,035万円である。

歳出の主なものは、施設管理費7,400万円余、公債費1億3,216万円余である。

下水道管の布設延長は76km、水洗化戸数は2,137戸、整備面積は341.4haであり、普及率は17.2%、水洗化率は84.2%である。

9 小諸公園事業特別会計

(単位：円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	137,052,000	144,332,032	118,133,591	26,198,441	26,198,441
平成28年度	136,549,000	143,676,500	124,643,375	19,033,125	19,033,125
前年度比較	503,000	655,532	△ 6,509,784	7,165,316	7,165,316

収入済額は1億4,433万円余、支出済額は1億1,813万円余で、差引2,619万円余を翌年度に繰越した。
歳入では、入園料等使用料が1億2,056万円余で、前年度に比べ1万円余減少した。
歳出のうち、土地借上料は、当年度1,200万円余で、前年度と同額である。

10 小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計

(単位:円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	13,933,000	12,232,164	12,192,730	39,434	39,434
平成28年度	9,210,000	8,595,024	8,061,049	533,975	533,975
前年度比較	4,723,000	3,637,140	4,131,681	△ 494,541	△ 494,541

11 高峰財産区特別会計

(単位:円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	2,693,000	2,747,585	128,267	2,619,318	2,619,318
平成28年度	2,750,000	2,876,991	177,916	2,699,075	2,699,075
前年度比較	△ 57,000	△ 129,406	△ 49,649	△ 79,757	△ 79,757

12 御牧ヶ原財産区特別会計

(単位:円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	2,945,000	3,470,386	1,913,505	1,556,881	1,556,881
平成28年度	1,553,000	1,674,710	579,205	1,095,505	1,095,505
前年度比較	1,392,000	1,795,676	1,334,300	461,376	461,376

13 古牧財産区特別会計

(単位:円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	2,090,000	2,088,177	259,512	1,828,665	1,828,665
平成28年度	2,160,000	2,228,556	262,774	1,965,782	1,965,782
前年度比較	△ 70,000	△ 140,379	△ 3,262	△ 137,117	△ 137,117

14 小諸市滋野財産区特別会計

(単位:円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	562,000	570,878	41,080	529,798	529,798
平成28年度	520,000	543,882	40,704	503,178	503,178
前年度比較	42,000	26,996	376	26,620	26,620

15 乗瀬地区市有地管理事業特別会計

(単位:円)

区分	予算現額	収入済額	支出済額	差引額	実質収支額
平成29年度	126,000	127,169	25,916	101,253	101,253
平成28年度	1,190,000	1,112,219	1,026,780	85,439	85,439
前年度比較	△ 1,064,000	△ 985,050	△ 1,000,864	15,814	15,814

実質収支に関する調書

実質収支に関する調書は、適法に作成されており、計数は正確であると認められた。
その内容は次表のとおりである。

(単位：円)

会計	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差引額 C	翌年度へ 繰り越す べき財源 D	実質 収支額 (C-D) =E	実質収支額の うち地方自治 法第233条の2 の規定による 基金繰入金
一般会計	19,891,135,379	19,310,614,520	580,520,859	124,251,000	456,269,859	230,000,000
特別会計	10,382,585,324	9,674,775,214	707,810,110	0	707,810,110	130,000,000
小諸市等公平 委員会	230,163	180,326	49,837	0	49,837	0
国民健康保険 事業	5,486,983,836	5,256,396,995	230,586,841	0	230,586,841	130,000,000
後期高齢者医療	461,463,061	459,461,867	2,001,194	0	2,001,194	0
介護保険事業	3,846,527,936	3,580,050,871	266,477,065	0	266,477,065	0
奨学資金	5,293,238	5,293,238	0	0	0	0
住宅新築資金等 貸付事業	75,036,418	11,152,996	63,883,422	0	63,883,422	0
農業集落排水 事業	341,482,281	229,544,320	111,937,961	0	111,937,961	0
小諸公園事業	144,332,032	118,133,591	26,198,441	0	26,198,441	0
野生鳥獣商品化 施設運営事業	12,232,164	12,192,730	39,434	0	39,434	0
高峰財産区	2,747,585	128,267	2,619,318	0	2,619,318	0
御牧ヶ原財産区	3,470,386	1,913,505	1,556,881	0	1,556,881	0
古牧財産区	2,088,177	259,512	1,828,665	0	1,828,665	0
小諸市滋野 財産区	570,878	41,080	529,798	0	529,798	0
乗瀬地区市有地 管理事業	127,169	25,916	101,253	0	101,253	0
合 計	30,273,720,703	28,985,389,734	1,288,330,969	124,251,000	1,164,079,969	360,000,000

財産に関する調書

財産に関する調書の概要は次のとおりであり、調書は適法に作成され正確であると認められた。

財産の区分		前年度末現在高	年度中増減	決算年度末現在高
1 公有財産				
(1) 土地 (地積)	m ²	2,020,260.45	△ 24,145.49	1,996,114.96
行政財産		1,752,675.93	△ 17,261.74	1,735,414.19
普通財産		267,584.52	△ 6,883.75	260,700.77
(2) 建物 (延面積)	m ²	203,485.24	△ 1,818.19	201,667.05
行政財産		199,574.16	△ 2,522.92	197,051.24
普通財産		3,911.08	704.73	4,615.81
(3) 山林				
面積	m ²	614,952.38	0.00	614,952.38
立木の推定蓄積量	m ³	11,169.00	55.00	11,224.00
(4) 有価証券	円	48,000,000	0	48,000,000
(5) 出資による権利	円	185,916,169	0	185,916,169
2 重要物品				
(1) 自動車	台	147	△ 3	144
(2) 50万円以上の物品・美術工芸品等	点	7,837	31	7,868
3 債権	円			
(1) 地域医療従事医師奨学金貸付金		54,800,000	14,400,000	69,200,000
4 基金	円			
特定目的基金				
(1) 小諸市財政調整基金		2,612,743,966	260,512,896	2,873,256,862
(2) 小諸市職員退職手当基金		244,636,117	207,940	244,844,057
(3) 小諸市立美術館建設基金		12,360,683	1,236	12,361,919
(4) 小諸市減債基金		1,425,001,930	△ 7,011,836	1,417,990,094
(5) 学校建設準備基金		221,677,191	144,000	221,821,191
(6) 小諸市地域振興基金		2,428,730,508	△ 253,815,828	2,174,914,680
(7) 小諸市地域福祉基金		498,024,055	199,352	498,223,407
(8) 市立小諸高濱虚子記念館基金		2,624,844	△ 160,442	2,464,402
(9) 小諸市立藤村記念館基金		771,326	77	771,403
(10) 小諸市立小山敬三美術館基金		23,001,089	△ 566,860	22,434,229
(11) 小諸市立小・中課外活動整備品整備基金		1,935,658	△ 1,003,339	932,319
(12) 小諸市国民健康保険支払準備基金		0	70,007,057	70,007,057
(13) 小諸市介護保険支払準備基金		200,327,496	40,328	200,367,824
(14) 小諸市農業集落排水事業施設基金		103,404,852	△ 103,404,852	0
(15) 小諸公園施設整備基金		50,907	5	50,912
(16) 小諸公園減債基金		24,020	2	24,022
定額運用基金				
(1) 小諸市土地開発基金		598,332,371	0	598,332,371
(2) 義務教育入学資金貸付基金		400,000	0	400,000
(3) 小諸市若妻肉用牛飼育事業基金		11,158,000	0	11,158,000
(4) 小諸市大津秀子奨学基金		85,992,463	0	85,992,463
(5) 小諸市あさま奨学基金		50,000,000	24	50,000,024

決算年度末現在高は、H30. 3. 31現在の額を表示。出納整理期間中に財政調整基金4億5,000万円、地域振興基金1億円を取り崩した。同じく大津秀子奨学基金3,521,276円を取り崩した。

前年度末現在高は、平成28年度決算書の財産に関する調書の額を表示

定額基金の運用状況

1 小諸市土地開発基金

当基金は、公用若しくは公共用に供する土地、又は公共の利益のために必要とする土地を、あらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図る目的で設置している。当年度中の増減は次のとおりである。

区 分	前年度末現在高	年度中増減	本年度末現在高
現 金 (円)	266,899,448	0	266,899,448
土地分 (円)	331,432,923	0	331,432,923
合計	598,332,371	0	598,332,371

2 義務教育入学資金貸付基金

市内小、中学校に入学する児童、生徒を持つ世帯のうち、特に入学に必要な物品購入の支払に困窮する者に貸付を行なうもので、当年度中の対象者はなかった。

区 分	前年度末現在高	年度中取扱高		本年度末現在高
		貸 付	回 収	
貸付件数 (件)	0	0	0	0
貸付額 (円)	0	0	0	0
現金 (円)	400,000	0	0	400,000

3 小諸市若妻肉用牛飼育事業基金

当基金は、若妻による肉用牛飼育を促進することにより、肉用牛資源の確保、繁殖経営の規模拡大に資する目的で設置したもので、当年度は数値に変動はなく、年度末現在高は次のとおりである。

区 分	前年度末現在高	年度中取扱高		本年度末現在高
		増	減	
肉用雌牛 (頭)	0	0	0	0
肉用雌牛 (円)	0	0	0	0
現金 (円)	11,158,000	0	0	11,158,000
合計	11,158,000	0	0	11,158,000

4 小諸市大津秀子奨学基金

当基金は、大津秀子氏からの寄附金1億円を原資に、奨学金貸与事業を行うものである。

区 分	前年度末現在高	年度中増減	本年度末現在高
有価証券 (円)	49,975,000	0	49,975,000
現 金 (円)	36,017,463	0	36,017,463
合計	85,992,463	0	85,992,463

平成29年度出納整理期間に3,521,276円を取り崩した。

5 小諸市あさま奨学基金

当基金は、前年度において寄附金5,000万円を原資に、新設されたものである。

区 分	前年度末現在高	年度中増減	本年度末現在高
有価証券 (円)	0	0	0
現 金 (円)	50,000,000	24	50,000,024
合計	50,000,000	24	50,000,024

む す び

当年度における一般会計及び特別会計の決算額は、歳入決算額302億7,372万円余で前年度に比べ7.74%増加し、歳出決算額は289億8,538万円余で前年度に比べ8.75%増加した。

当年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入198億9,113万円余、歳出193億1,061万円余で前年度に比べ、歳入は10.68%、歳出は13.68%増加した。単に歳入歳出額を差引いた形式収支は5億8,052万円余の黒字となり、翌年度繰越財源を差引いた実質収支も4億5,627万円余の黒字であるが、単年度収支は5,963万円余減少している。

市財政の根幹をなす市税の徴収率は、前年度に比べ0.27%低下しており、収納対策の強化が望まれる。

普通会計における財務比率は、財政力指数は、前年度の0.559から当年度0.579と0.020上昇した。経常収支比率は、当年度89.3%で前年度84.9%に比べ4.4%上昇し、経常一般財源等比率は、前年度の94.5%から当年度93.4%と1.1%減少した。実質公債費比率は、前年度の9.3%から当年度8.8%と0.5%減少した。

一般会計の歳入の構造は、自主財源の割合が41.17%、依存財源の割合が58.83%で、自主財源の割合は前年度より1.75%低下した。

歳出では義務的経費が前年度に比べ318万円余増加し、投資的経費は20億6,860万円余増加した。その他の行政経費にあっては、物件費が1億1,641万円余、維持補修費が3,326万円余、繰出金が4,949万円余増加した。減少したのは、扶助費の1億1,670万円余である。歳出総額は前年度に比べ23億2,424万円余増加した。

一般会計の市債の年度末残高は189億7,713万円余で前年度に比べ14億9,635万円余増加し、基金の当年度出納整理期間後の残高は、75億2,990万円余で前年度に比べ5億5,149万円余減少している。今後の財政運営の厳しさが懸念される。

当年度中の基金の主な取り崩しは、地域振興基金3億6,000万円、財政調整基金4億5,000万円、減債基金913万円余、主な積立は、財政調整基金2億6,000万円の積立である。

特別会計中、国民健康保険事業特別会計では、歳入決算額54億8,698万円余、歳出決算額52億5,639万円余であり、歳出決算額は減少し、実質収支額は前年度より9,499万円余改善した。保険税収入が2,245万円余減少したが、歳出額も6,273万円余減少しており、支払準備基金の取り崩しはなく良好であった。

介護保険事業特別会計では、歳入決算額38億4,652万円余、歳出決算額は35億8,005万円余で前年度より8,874万円余の増加であった。高齢化率は上昇しており、今後の給付費の増加が懸念される。

住宅新築資金等貸付事業特別会計は、公債費残高が減少しており、6,388万円余の繰越金が出ているが、貸付金の償還未済額は6億1,108万円余である。回収に当たって、法的手段等も講じられているが引き続き努力されたい。

小諸公園事業特別会計においては、一般会計繰入金がなく経営努力が伺える。

国では、地方経済の基調判断として、「穏やかに拡大し、雇用者所得、就業者数は振れを伴いつつも穏やかに上昇している」と示していますが、世界情勢によっては経済動向が急変する不安定な状況が予測されます。

本市においては、人口減少と高齢化が進み、自主財源の大幅な増加が見込めないなか、市政運営にあたり、支出面では、市民要望を取り入れ、事務事業の優先度や費用対効果を十分に精査し、年間計画に基づいた予算執行を、収入面では、有利な国・県の補助金交付金制度を研究されるとともに、税・負担金については、公平かつ公正な観点に立った賦課と徴収、受益者負担の原則による使用料等の適確な収納など、効率的・効果的な収入確保対策を望むものである。また、債権管理条例及び施行規則に基づき、適正な債権管理をされたい。

今後の大型事業の取組みに当たっては、将来を見通した健全で効率的な財政運営に努められたい。また、市民の安全・安心、健康、福祉に配慮した住みやすい街づくりに向けて努力されたい。